

# ぼうさい授業 事前説明資料

2024年度 地域プロジェクト I・II

担当:全学共通教育センター教授 久保はるか



# 授業「地域プロジェクト」の位置づけ ～実践形式の学習方法～

- 甲南大学地域連携センターでは、実社会での問題発見・解決型の取り組みを通じて、地域に根差した学び[CBL (Community Based Learning, コミュニティ・ベースド・ラーニング)]を習得することに力を入れて取り組んでいます。
- 「問題発見・解決型学習」(Problem-Based Learning)とは、少人数グループによるグループ討議、活動記録の作成、自己学習、成果報告など、統合的・創造的な学習に主眼を置いている実践形式の学習方法です。



# 授業「地域プロジェクト」の目的 科目における到達目標

- **地域課題**について具体的に学び、対象とする地域での**フィールド調査**を行って、**解決策を提案**し、最終的には、**その成果を関係者に対してプレゼンテーション**し、地域へ提言することを目標とします。
- 以上を通じ、現実社会で起きている問題を正確に捉え、そのために必要な解決策を自ら考え、具体的なデータをもとに、説得力のある解決策を提案(プレゼン)することができる能力を養います。さらに、他者との協働作業やディスカッションを通じて、コラボレーションスキルやコミュニケーションスキルも養い、社会で通用する能力を身につけることも目標とします。



# ぼうさい授業 概要

- 東京海上日動火災保険(株)、神戸市との連携
  - 防災に関する学生の学び、企画の場を提供
  - 魚崎中学校の生徒さんに向けて、甲南大学生が「ぼうさい授業」を実施
- ①災害支援、防災の活動について、授業計画の立て方について、基礎知識を自ら学びます。
  - ②中学2年生向けの授業計画を立てます。
  - ③神戸市危機管理室等、関係機関にヒアリング調査をします。
  - ④東京海上日動火災保険(株)や神戸市、魚崎中学校関係者にプレゼンテーションします。
  - ⑤魚崎中学2年生に対して「ぼうさい授業」を実施します。
  - ⑥活動を振り返り、今後の学びにつなげます。



### ◆甲南大学と東京海上日動火災保険(株) の関わり

甲南学園の創立者である平生釵三郎は、明治 27 年（ 1894 ）に、東京海上日動の前身である、東京海上保険株式会社に入社します。その後、大阪支店長、ロンドン支店監督、神戸支店長などを歴任したのち、大正 6 年（ 1917 ）に専務取締役役に就任しました。大正 14 年（ 1925 ）に専務取締役役を辞任し、翌 15 年に甲南学園理事長に就任しました。このようなご縁もあり、今回、東京海上日動火災保険(株) との コラボ企画が実現しました。東京海上日動火災保険(株)に興味のある方も是非参加してください。



# ぼうさい授業 過去の実績

- 2018年度 ぼうさいの授業
  - 住吉中学校:避難経路や土砂災害警戒区域のハザードマップの作成
  - 魚崎中学校:非常持ち出し袋の中身を考えるグループワークや、土砂災害や高潮の解説、防災マップの作成
- 2019年度 ぼうさいの授業⇒中止・・・
  - 魚崎中学校(ただし、新型コロナウイルス対応のため、授業の実施は見送り)
  - 災害弱者(お年寄り、子ども、外国人)との避難、避難時の共助について考える

## 東灘区

中学生が災害時に地域で率先して活動できるようにと、甲南大の学生らが28日、同大(東灘区岡本8)で、市立住吉中学校の生徒会役員や学級委員ら約100人と一緒に防災を学ぶ「リーダー研修」を開いた。同大の地域連携センターと大学生が研修を企画した。研修では、佐藤泰弘同センター所長が、住吉・岡本地域の歴史を紹介し、東京海上日動火災保険の杉本真美さんが、地震や津波の仕組みについて解説した。その後、生徒らはグループに分かれ、避難経路や土砂災害警戒区域を示すハザードマップを作成した。六甲山系の麓に位置する同地域は、警戒区域の指定が多く、「近所が警戒区域とは知ら

## 災害時、助ける側、になろう

### 甲南大生ら企画 住吉中生ら防災学ぶ

なかった」と驚きの声も。避難時にできることや普段からの備えについての発表もあり、「近所さんと仲良くする」「高齢者や小学生を手助けする」などの意見が出た。

生徒会長の小磯太楊さん(15)は「備えをせずに助けられる側になるのではなく、他人を助けられる存在になるために何ができるか考えたい」。研修を企画した同大3年の中野亜耶さん(20)は「コミュニケーションの一員として地域に関わることが防災につながることを知ってもらいたい」と話していた。

(井上 駿)



ハザードマップを作成する住吉中学の生徒ら＝甲南大

# コロナ禍でのぼうさい授業 2020年度・2021年度

2020年度

## 魚崎中学校

備えの行動に移すための“想像力”を働かせる「ぼうさい授業」:トロッコアドベンチャーとすごろくゲームで楽しみながら学ぶ

※中学校の放送室からオンラインで実施!

東京海上日動火災保険(株)×神戸市×甲南大学～次の世代へと繋ぐ「ぼうさい授業」～ | 甲南大学 地域連携センター (konan-u.ac.jp)

2021年度

## 魚崎中学校

「一人の犠牲者も出さないために」:自助について学ぶ「魚崎中学校オリジナル防災ハンドブックと地図ワーク」、共助について学ぶ「要配慮者への支援を考える避難所体験ワーク」

※中学校多目的ホールからオンライン&教室でのグループワークのハイブリッド方式!

甲南大学×東京海上日動火災保険(株)×神戸市「『ぼうさい授業』～一人の犠牲者も出さないために～」 | 甲南大学 地域連携センター (konan-u.ac.jp)



# 2022年度 大学で対面での実施

- 地域防災訓練への参加
  - 「ぼうさい授業」受講生が地域防災訓練に参加、甲南大学の防災対策を紹介しました | 甲南大学 地域連携センター (konan-u.ac.jp)
- 魚崎中学校 中学生への「ぼうさい授業」
  - 「～災害時に落ち着いて判断・行動できるようになろう～」:ストーリー仕立て&体験型
  - ①魚崎中学校オリジナルハザードマップを作る ②避難所生活を体験する ③マイ防災バッグを創る
  - 甲南大学 **142**教室にて実施: 中学生の大学体験も兼ねて
  - 甲南大学×東京海上日動火災保険(株)×神戸市「『ぼうさい授業』～災害時に落ち着いて判断・行動できるようになろう～」 | 甲南大学 地域連携センター (konan-u.ac.jp)



# 2023年度 大学で対面での実施

- 地域防災訓練への参加
  - 「ぼうさい授業」受講生が地域防災訓練に参加、甲南大学のブース展示を行いました | 甲南大学 地域連携センター ([konan-u.ac.jp](http://konan-u.ac.jp))
- 魚崎中学校 中学生への「ぼうさい授業」
  - テーマ:「防災のための情報収集と身を守る行動」
    - ①授業にあたって知ってほしいこと ②防災のための情報収集
    - ③災害時に身を守る行動 ④グループワーク ⑤いざという時に役に立つ豆知識と防災アプリ
  - 甲南大学 142教室にて実施: 中学生の大学体験も兼ねて
  - [甲南大学×東京海上日動火災保険\(株\)×神戸市『ぼうさい授業』～防災のための情報収集と身を守る行動～](#) | 地域連携 | 甲南Ch. - 甲南大学受験生向け情報サイト ([konan-u.ac.jp](http://konan-u.ac.jp))



# 今年度の活動予定

- テーマ：**「災害時に適切な行動がとれるよう、中学生にできること」**（魚崎中学校二年）
- 頻度：基本的に、後期 週1回90分程度のゼミ活動、課題あり
- ゼミの実施：**後期 水曜 5限（相談に応じますが調整が必要）**、岡本キャンパスにて
- 活動期間：**6月末～3月中旬。3月11日（火）に「ぼうさいの授業」実施**
  - **6月下旬～7月中**：お昼休み時間に、オリエンテーション、事前学習
    - この期間中に、東京海上日動火災保険（株）によるレクチャー
  - **9月下旬～11月（夏休み期間をのぞく）**：学習、調査、授業の企画立案、中間報告
    - **9月下旬**：神戸市によるレクチャー
    - **11月下旬～12月初旬**：中間報告
  - **12月～3月**：授業の企画、本番に向けての準備・練習（試験期間および大学入試期間を除く）



## スケジュールの具体的イメージ(2022年度の場合)

7月4～6日	オリエンテーション、事前学習課題の説明
--------	---------------------

後期授業期間 (月曜5限)	授業の開始。 毎週、ゼミ室で防災についての学習、「ぼうさい授業」のコンテンツの検討、授業内容の企画立案。 そのうち 10月17日 東京海上日動火災保険(株)より、「ぼうさい授業」についてレクチャー 10月24日 神戸市危機管理室より、神戸市の防災対策について、レクチャー 10月31日 甲南大学管財部より、甲南大学の防災の取り組みについてレクチャー 11月13日(日) 地域防災訓練への参加 日程調整して、魚崎町の街歩き 12月12日 中間報告(東京海上日動、神戸市) : 企画案について中間報告、アドバイスをいただく
------------------	---

2月7日～週に1回 (10～16時)	授業スライドの作成、プレゼン準備 授業の通し練習：内容と手順の確認、修正。話し方などプレゼンの相互チェック。 授業配布資料の作成と確認。
3月～本番まで、週 に2回(10～16時)	そのうち、 2月27日 授業企画について最終報告(東京海上、神戸市) 2月28日 魚崎中学校での最終報告 3月14日 リハーサル 3月15日 授業本番！授業は9:30～12:15



## スケジュールの具体的なイメージ(2023年度の場合)

7月5～21日	お昼休みに、オリエンテーション、事前学習課題の説明、 7月11日・14日 <b>東京海上日動火災保険(株)より、「ぼうさい授業」についてレクチャー</b>
後期授業期間 (水曜5限)	毎週、ゼミ室で、防災についての学習、今年度の「ぼうさい授業」の具体的テーマ・コンテンツの検討、 授業内容の企画立案。 そのうち 10月4日 <b>神戸市危機管理室より、神戸市の防災対策について、レクチャー</b> 11月15日 <b>甲南大学管財部より、甲南大学の防災設備と取り組みについてレクチャー</b> 11月26日(日) <b>地域防災訓練への参加</b> 日程調整して、 <b>魚崎町の街歩き</b> 12月6日 <b>中間報告(東京海上日動、神戸市) : 企画案について中間報告、アドバイスをいただく</b>
1月31日～本番まで 週に1, 2回(10～ 16時)	授業スライドの作成、プレゼン準備 授業の通し練習: 内容と手順の確認、修正。話し方などプレゼンの相互チェック。 授業配布資料の作成と確認。 そのうち、 2月8日 <b>授業企画について最終報告(東京海上)</b> 2月8日 <b>魚崎中学校での最終報告と確認</b> 2月19日 <b>リハーサル</b> 2月20日 <b>授業本番! 授業は9:00～12:00</b>

## 2023年度参加者の声 抜粋

### 【ぼうさい授業で得られたこと、試行錯誤したこと】

- ぼうさい授業で一番得られたこととしては、防災の知識だと考えます。自分が通う大学の防災対策についても学ぶことができ、災害時の行動にも今回の知識が生かされると考えます。
- なによりも防災に対して知識を深めることができたのが大きかった。災害は命に直接関わることであり、地震の多い日本に住んでいるからには避けられないことである。しかしどこか自分とは関係のない他人事として捉えてしまいがちだ。そのため防災が大切なことだとは理解しつつも、自分から積極的に対策に動くのはハードルが高い。今回ぼうさい授業に関わられたことで、自分や周りの大切な人たちを守る知識を得る機会を得られたことはとても貴重だった。
- 中学生に防災について授業をする上で正しい情報を伝えなければ、生徒の命にかかわってしまうため、正しい防災の知識を得ることが重要だと思い、積極的に防災に関する知識を得ていくことができました。その得た知識の中で何を生徒に伝えたいのか、どう伝えればよいのかを考え、授業を作っていくことができました。
- 将来中学校教諭を目指している私にとって貴重な経験となったのが実際に魚崎中学校の先生にご意見をいただいた最終報告でした。日ごろ生徒と関わってらっしゃる先生だからこそ「この表現では中学生は理解が難しい」といった、生徒の理解のスピードの度合いを含め、ご意見をいただいたことはとても参考になりました。

## 2023年度参加者の声 抜粋

### 【ぼうさい授業で得られたこと、試行錯誤したこと】

- 全体を通して得られたことは、『根気よく続けることでこんな感情を共有できるのか』という気持ちです。毎週水曜日だけではなく、個人的に集まってスライドを完成させたり、情報を収集したりと大変なこともたくさんあったけれど、そのたびに何度も励まし合い乗り越えてきました。その時間があつたからこそ授業が終わった後、「しんどかった」ではなく、「楽しかった」という気持ちをみんなで共有できたのだと思います。
- 何回も試行錯誤したところは台本です。特に最終報告で説明した時から本番の間で中学生にどのような説明をしたらここをわかってくれるだろうかという、言葉をかみ砕くところがなかなか難しく何度も試行錯誤しました。
- 集団で作業する中でお互いに励まし合いながら良い雰囲気の中で作業することの大切さを学びました。
- 大人数の中学生相手に物事を教えるという貴重な経験ができた。
- 大人数の中学生を相手に実際に授業をしたことで、どのような話し方をすれば子どもが興味を持ってくれるか、どれくらいのテンポで話せば、聞きやすいか、何をスライドなどで表示し、何を言葉で伝えるべきか、映像や写真をどのように生かすか、など様々な知識が得られました。自分が将来教職を取ったときに生かせる様々な知識がついたと思います。

# 第1回 オリエンテーションについて

- 日時: **2023年6月25日(火)、26日(水)、28日(金)**のいずれかの昼休みに実施します。応募の際に、どうしても参加できない曜日があれば記入してください。
- 実施方法: 基本対面 / ZOOMとの併用も可能
- **応募者多数の際の当否、オリエンテーションの日程・場所について、メール(応募の際に記入したメールアドレス)で連絡するので、応募の際には必ずメールの確認をするようにしてください。**
- 内容: 自己紹介、今後の進め方、事前学習の参考資料の案内など



# 履修上の注意(1)

## 履修登録と単位取得

- 本プロジェクトは、みなさんの挑戦や実績を「可視化(見える化)」する一環として、各プロジェクトの参加実績をもとに、キャリア創生共通科目「地域プロジェクト I・II」(旧名「地域を知る I・II」)として履修登録をします。履修手続きは地域連携センターが行います。
- キャリア創生共通科目は、卒業単位としての取り扱いが各学部学科で異なります。必ず、履修要項を確認するようにしてください。



## 履修上の注意(2)

- プロジェクトに応募する際には、下記のプロジェクトの内容や参加条件を十分に理解してください。
- 原則として、各プロジェクトにおける**すべての取り組みに、最後まで参加できること**。
- 対面での授業に加えて、zoom等を使ったリアルタイムのオンラインミーティングも併せて実施する可能性があります。そのため、原則として、自宅で自由に**使えるパソコン機器や安定したインターネット環境を準備**してください。
- 授業期間中の**休日**にフィールドワークが実施される場合があります。
- 交通費などの**自己負担**が発生する場合があります。ただし、費用の一部が大学から補助されることもあります。



# 問い合わせ先

---

- ◎担当教員:久保はるか(全学共通教育センター教授)
  - eメール:kubosh@konan-u.ac.jp
- ◎事務室:地域連携センター(KOREC)(担当:白井)
  - 12号館1階(法科大学院棟)
  - 電話:078-435-2276
  - eメール:korec@ml.konan-u.ac.jp

